

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	道路改築事業		路河川名等	(国)153号		
事業毎の通番	1	市町村名	飯田市	箇所名(ふりがな)	飯田北改良(いいたきたかいりょう)	
事業目的	(国)153号は名古屋市を起点として塩尻市に至る主要な広域幹線道路であるとともに、平成39年度開業予定のリニア中央新幹線長野県駅(仮称)へのアクセス道路としての役割を担う道路である。このうち当該区間は、現況2車線で慢性的な渋滞が発生しており、安全で円滑な交通の確保が課題となっている。 このため、当該区間の整備により、渋滞の解消とリニア駅へのアクセス確保を図るため、早期に整備する必要がある。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	しあわせ信州創造プラン、長野県新総合交通ビジョン、飯田都市計画マスタープラン					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:24,900台/日					
着手年度	平成28年度	事業期間	12年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成39年度	費用対効果	3.1	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=2,500m、W=14.0(25.5)m			13,000,000	7,150,000 5,265,000 585,000	
年度事業内容(主な工種)	道路詳細設計一式、用地測量一式、物件調査一式			50,000	27,500 20,250 2,250	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間・経費・事故の減少 298億円 リニア長野県駅アクセス道路、緊急輸送路(1次)の整備				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：緊急時の迂回路はあるが、現道の交通量を受け入れることは困難 ○交通結節点アクセス：飯田ICへの1次アクセス道路、リニア中央新幹線長野県駅への1次アクセス道路 ○医療・福祉・教育施設との連携：飯田市立病院への1次アクセス道路 ○地域の活性化：飯田都市環状道路の一部を構成し、飯田都市圏の自動車交通体系の形成に寄与するリニア中央新幹線長野県駅への1次アクセス道路			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン、長野県新総合交通ビジョン 飯田都市計画区域マスタープラン ○緊急輸送道路の路線指定：緊急輸送路(1次)に路線指定 ○地域指定：東海地震 地震防災対策強化地域に指定			評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C)：3.1 ○事業期間：12年間 ○工法等の比較検討：ルート比較検討を実施(H26設計業務委託) ○他事業との連携：リニア中央新幹線関連			評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数：H24:154件、H25:142件、H26:153件 ○道路環境改善：イライラ箇所の解消(飯田市城東東～座光寺) ○歩道整備：通学路一部指定あり(高陵中学校) ○現況の幅員：最小幅員5.3m			評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者以外にも周知(市広報誌、HP等)を活用し、事業説明会を開催 第1回:H26.12.9～ ○地域の取り組み：積極的な取り組みがある(飯田市、下伊那土木振興会) ○地域の合意形成：事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働：「上郷地域リニア対策特別委員会」、「座光寺リニア地域づくり推進会議」が組織されている			評価	A
	部意見	事業の必要性、重要性及び緊急性が高いため、平成28年度から新規事業化したい。	行政改革課意見	渋滞の解消と、リニア駅へのアクセスとなる重要な幹線道路であるため、重要性、緊急性が高く、必要性も認められる。	評価結果	総合評価 ○ A

**位置図**

**現況写真**

渋滞により、立ち往生する救急車

**概要図**

**事業概要説明図表**

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)153号の本事業区間については、飯田都市環状道路の一部を構成するとともに、平成39年度開業予定のリニア中央新幹線長野県駅(仮称)へのアクセス道路としての役割を担う道路である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は、沿道に商業施設が集積し、交通容量が不足しており、恒常的な渋滞が生じており、地域から渋滞の解消を求められている。 ・飯田市要望 H26.9.16 ・下伊那土木振興会要望 H27.6.26
③事業説明等の経緯	平成26年12月から平成27年7月にかけて、地元説明会を4回開催し、事業目的について合意を得ている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	しあわせ信州創造プラン「リニア中央新幹線関連」 リニア中央新幹線整備 長野県新総合交通ビジョン 飯田都市計画区域マスタープラン
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	本事業により渋滞が緩和されるとともに、歩道の整備によって安心して安全な歩行者空間が確保される。
⑥地域活性化への影響と配慮	広域交通、地域振興の拠点となるリニア中央新幹線長野県駅へのアクセス機能の確保が図られるとともに、事業区間や周辺道路の渋滞緩和が見込まれる。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 35° 31' 17" 00 東経:E 137° 51' 4" 00